

枚方市役所 CO₂削減プランの取り組みについて（案）

1. 枚方市環境マネジメントシステム（H-EMS）の概要

＜枚方市環境マネジメントシステム（H-EMS）の取り組み内容＞

項 目		H-EMS の取り組みの内容
適用範囲		すべての施設（指定管理者制度を導入している施設や学校園などを含む。）
Plan	環境方針	市長が策定
	目的・目標の設定	・環境基本計画の事業計画に基づく各環境施策の取り組み目標 ・市役所の温室効果ガスの排出削減目標 ・エネルギー使用量の削減目標 ・エコオフィス活動に関する取り組み目標
Do	研修	日常研修（年1回） 内部環境監査員研修（年1回）
	取り組みの手順	・エコオフィスに関する取り組み指針 ・エネルギー使用量削減のための管理手順
Check	監視・測定	・市役所の温室効果ガス排出量（年1回） ・環境関連施策の目標達成状況（年1回） ・エネルギー使用量（年4回） ・エコオフィスの取り組み（年4回）
	内部環境監査	年1回実施 （監査の内容） ①環境関連施策の実施状況 ②施設、公用車のエネルギー管理状況 ③環境関連法令の順守状況 ④エコオフィスの取り組み状況 ⑤その他、H-EMS に基づく取り組み内容
Action	市長による見直し	市長によるシステム全体の見直し
外部監査		環境審議会からの意見・提言
取り組み状況の公表		毎年度、ひらかたの環境（環境白書）やホームページ等で公表

枚方市環境マネジメントシステム（H-EMS）は、本市の環境の保全と創造に関する施策や、事務及び事業における省エネルギー・省資源の取り組みを推進するため、Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検・評価）、Action（見直し）を行いながら、継続的に取り組む本市独自の環境マネジメントシステムです。

具体的には、「第3次枚方市環境基本計画」や「枚方市役所 CO₂削減プラン」に基づく施策・事業の進捗管理、「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」に基づくエネルギー管理やエコオフィス活動についても、システムの年間スケジュールに組み込むことにより、本市の環境配慮活動を総合的にマネジメントします。

2. 枚方市役所 CO₂ 削減プランの取り組み

（1）2024 年度の温室効果ガスの排出量及び今後の削減目標について

2024 年度に本市の事務及び事業に伴い排出された温室効果ガスの排出量は、表 1 のとおり、34,816t-CO₂ で、基準年度である 2013 年度からは、17.2%の削減となりました。

2025 年度から開始している「効率的なエネルギー調達と再生可能エネルギー導入」に基づく取り組みにより、今後は、電気使用量の約 34%が再エネ由来電力に切り替わります。これにより、本市の温室効果ガス排出量の約 8 割を占める電気由来の排出量が大幅に削減されることとなり、2025 年度の温室効果ガス排出量の削減率は、43.9%を見込んでいます。

合わせて、太陽光発電設備、LED 照明、電動車の導入を進めていくことで、2030 年度の目標である 51%削減の達成をめざします。

< 表 1 温室効果ガス排出量の削減目標 >

項 目	基準年度実績	2024 年度実績	2025 年度見込み	2030 年度目標
事務及び事業に係る 温室効果ガスの総排出量	42,028 t-CO ₂ (2013 年度)	17.2%削減 (34,816 t-CO ₂)	43.9%削減	51%削減

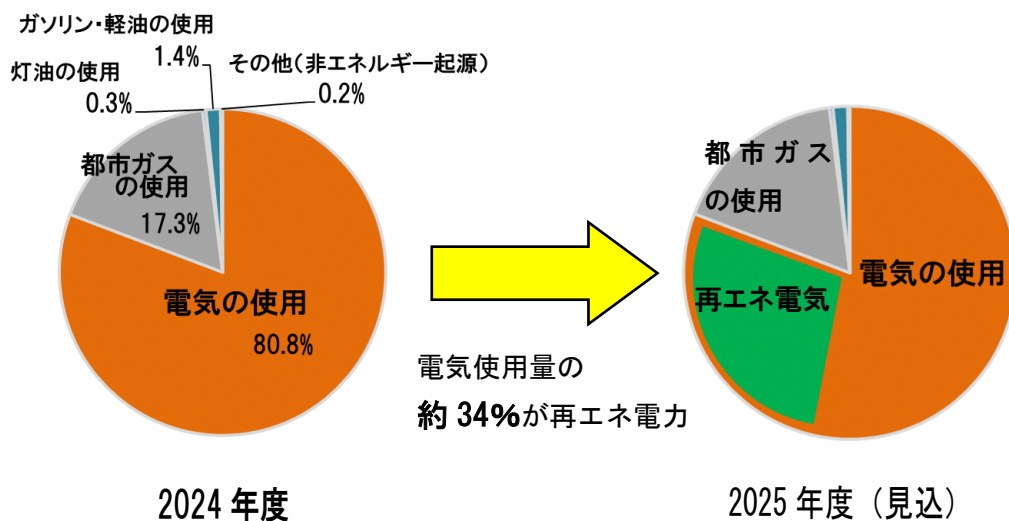


図1 温室効果ガス排出量エネルギー割合

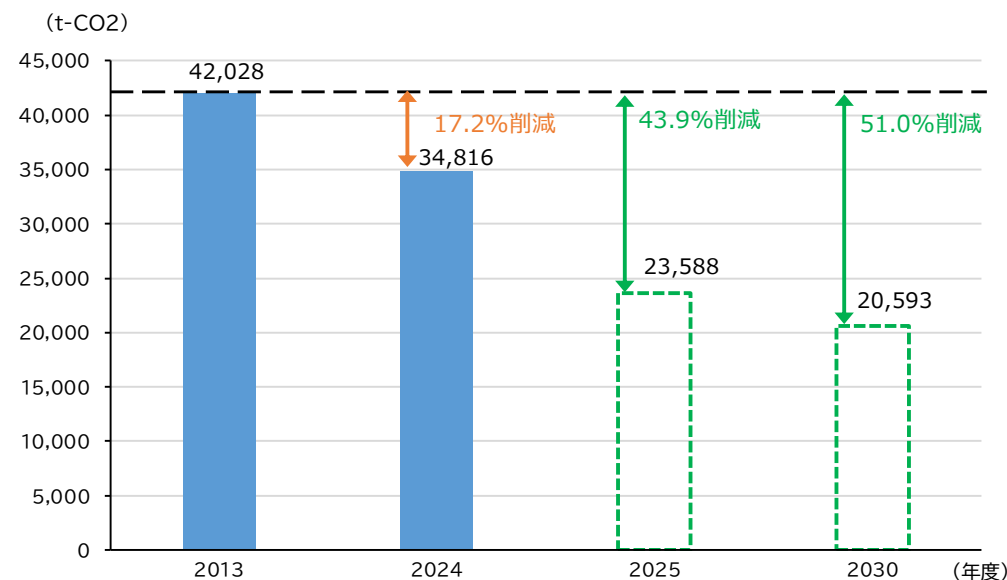


図2 温室効果ガス排出量（CO₂換算）

3. 第3次環境基本計画に基づく事業計画について

（1）2024年度事業計画の達成状況

第3次環境基本計画令和6年度事業計画において、57事業で目標を設定し、取り組みを行いました。

2024年度は57事業のうち45事業で目標を達成しましたが、11事業で目標を達成することができませんでした。目標を達成できなかった11事業については、今後に向けた検討や対応が行われています。（詳細は、資料1－2を参照）

（2）2025年度事業計画（案）

第3次環境基本計画に基づき2025年度に実施する事業を2025年度事業計画として位置づけ、それぞれ目標を設定し、取り組みを行います。事業計画では、87事業を位置づけており、内容については、資料1－3のとおりです。

4. 内部環境監査について

（1）実施時期

2025年5月26日～6月6日まで（第1次監査5/26～5/30、第2次監査6/2～6/6）

（2）確認項目

- ①第3次枚方市環境基本計画令和6（2024）年度事業計画に基づく環境関連施策の目標達成状況
- ②施設・公用車のエネルギー管理状況
- ③環境に関連する法令等の順守状況
- ④エコオフィス活動の実践状況
- ⑤その他、枚方市環境マネジメントシステム（H-EMS）に基づく取り組み内容

（3）監査結果

内部環境監査の結果、環境関連法令等の順守状況を含め、特に、指摘事項はありませんでした。

【参考】

① 2024 年度のエネルギー消費量の目標達成状況

2024 年度のエネルギー消費量等の実績は、表 1 のとおりです。電気及び都市ガスでエネルギー消費量の約 98%を占めています。

2024 年度のエネルギー消費原単位総量は、前年度比で 2.7%の増加となりました。

＜表 1 エネルギー消費量の 2024 年度実績＞

項 目		2013 年度実績 【基準年度】	2023 年度 実績	2024 年度		結果分析
				実績	前年度比	
エネルギー 消費原単位 総量		1.027 GJ/m ²	0.964 GJ/m ²	0.990GJ/m ²	2.7% 増加	電気や都市ガスの使用量が増加したことにより、エネルギー消費原単位総量についても前年度から増加することとなった。
エ ネ ル ギ ー 消 費 量	電気 使用量	655 TJ (65,718,622 kWh)	658 TJ	669 TJ	0.6% 増加	エアコンを使う頻度が高まったことや、ラポールひらかたでは 2023 年度に設備不良により利用を制限していた施設が復旧したことにより使用量が通常の状態にもどったことなどから、昨年度より増加したと考えられる。
	都市ガス 使用量	109 TJ (2,414,140 m ³)	103 TJ	116 TJ	12% 増加	小中学校の体育館にガス空調機が新設され、冬期の空調使用も比例して増えたため。なお、空調設備については令和 6 年度に全校設置完了。
	LPG 使用量	6.04 TJ (118,876 kg)	4.06 TJ	4.02 TJ	0.99% 削減	主に空調や調理場で使用されているが、主な削減要因は分からなかった。
	灯油 使用量	8.19 TJ (223,187 ㍓)	0.67 TJ	0.74 TJ	10% 増加	灯油使用量の約 8 割を占める総合福祉センターにおいて、エアコンと併用して使用する暖房用ガスストーブで使用している。特に 2025 年 1 月、2 月の平均最低気温が昨年度よりも低かったため、使用量が増加した。
	軽油 使用量	10.17 TJ (269,875 ㍓)	4.26 TJ	3.85 TJ	9.62% 削減	ごみ収集業務の委託により、塵芥車の稼働が減ったことが使用量削減の主な要因と考えられる。
	重油 使用量	3.56 TJ (91,131 ㍓)	1.83 TJ	1.02 TJ	44% 削減	2023 年度と比較して、降雨による排水ポンプの運転時間が減少したことが、使用量減少の主な要因として考えられる。
	ガソリン 使用量	4.13 TJ (119,211 ㍓)	3.65 TJ	3.49 TJ	4.38% 削減	公用車の走行距離が減少したことや電動車の導入が進んだことが使用量減少の主な要因と考える。

②2024年度におけるエコオフィスに関する取り組み

エコオフィスに関する2024年度の取り組み実績は、表2のとおりです。

「水道使用量」、「紙使用量」、「庁舎からのごみ排出量」すべてにおいて増減はあるものの、前年度から概ね横ばいとなりました。

＜表2 2024年度実績＞

項 目	実績		
	水道使用量 (ℓ)	紙使用量 (A4 換算) (枚)	庁舎からのごみ排出量 (t)
2023 年度	749,447	12,469,841	15.80
2024 年度	745,544	12,665,779	15.75
増減率	-0.5%	1.5%	-0.31%

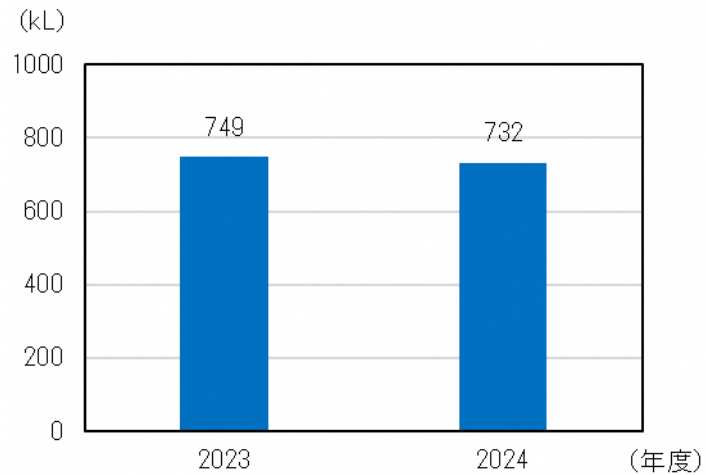


図3 水道使用量の推移

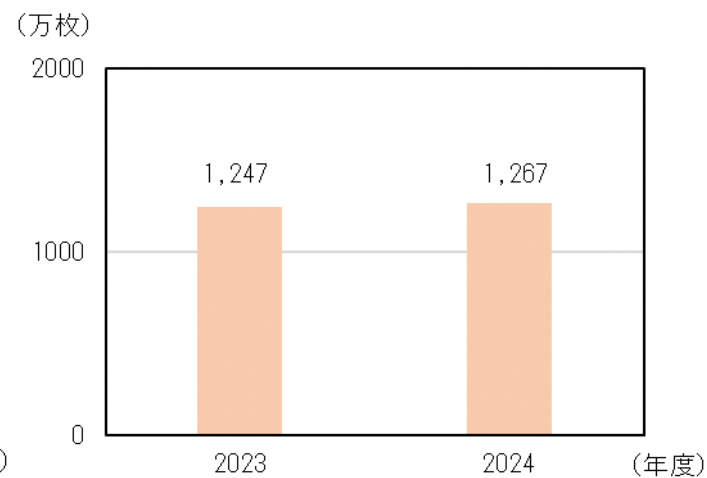


図4 紙使用量の推移

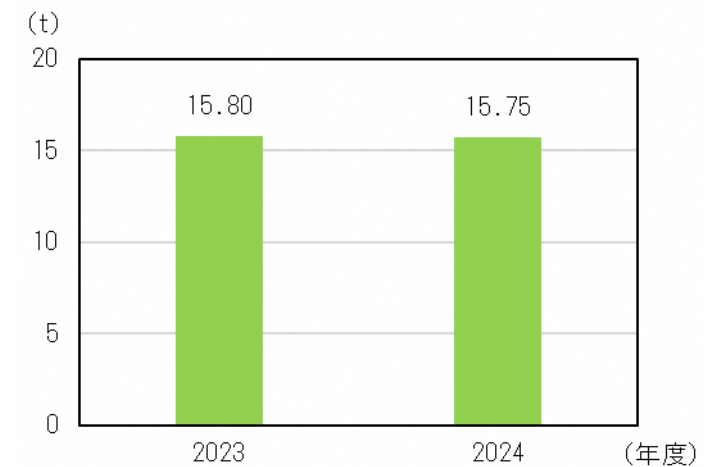


図5 庁舎からのごみ排出量の推移

③ごみ処理に係る温室効果ガス排出量

<2024 年度の実績>

項 目	基準年度実績	2023 年度	2024 年度		
		実績	実績	目標	評価
ごみ処理に係る 温室効果ガス排出量	36,945 t-CO ₂ (2014 年度)	29,219 t-CO ₂ (20.9%削減)	28,355 t-CO ₂ (23.2%削減)	16.2%削減	目標達成

※一般廃棄物の焼却に係る事務が 2025 年度末に、一部事務組合に移行する予定であることから、
ごみ処理に係る温室効果ガス排出量の削減目標は別に設定しています。